

平成29年における死亡災害発生状況(速報)

資料 2

平成29年8月31日現在

<事故の型>

激突され 3人 (21%)
飛来・落下 2人 (14%)
崩壊、倒壊 1人 (7%)

交通事故 3人 (21%)
はさまれ、巻き込まれ 2人 (14%)

転倒 2人 (14%)
墜落・転落 1人 (7%)

番号	発生日	業種	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	起因物
1	1月	鉄鋼業	男性	作業員	50代	<p>鋳造型機にて鋳型の成型中に異常が認められたため、被災者が機械を手動運転に切り替え、機械下部に潜り込み点検修理を行った。その後同僚に操作スイッチの切り替えを行うよう指示したところ、被災者が潜りこんでいた箇所下部にある台車のテーブルが上昇し、上部のターンテーブルとの間に胸部を挟まれ被災した。</p> <p>同種災害を防止するための対策例 ・共同作業を行う場合において機械を動作させるときは、予期しない作業員の誤操作等に伴う機械による接触防止対策を確実にすること。</p>	<p>ターンテーブル 台車</p>	はさまれ・巻き込まれ	その他の一般動力機械
2	2月	飲食店	女性	店長	40代	<p>本社で開催される会議に出席するため、自動車で移動中、信号のない十字路にて、横から来た10tトラックと出会い頭に衝突した。</p> <p>同種災害を防止するための対策例 ・一時停止の標識や掲示を必ず守ること。 ・相手側の一時停止をあてにせず、交差点手前で減速して、左右の安全を確実に確認すること。</p>		交通事故(道路上)	乗用車、バス、バイク
3	2月	その他の事業	男性	警備員	60代	<p>交通誘導作業を終え、歩いて駐車場に戻る途中に、何らかの理由で倒れた。倒れていた被災者は誘導旗の棒の先端が右目を貫通している状態で発見された。歩行中、町道の側溝の取手穴に躓いて転倒したものと推定される。</p> <p>同種災害を防止するための対策例 ・ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れ、実施すること。 ・適切なサイズの靴を選択すること。</p>		転倒	通路
4	2月	窯業土石製品製造業	男性	作業員	50代	<p>被災者を含む3名で、製品のコンクリート製L字型外壁材(重量約7.2t)を橋形クレーンを使用して運搬作業を行っていた。製品を地上に降ろして、同僚が脚立梯子を使用して上部の玉掛け用具を外した時、製品が倒れ、脚立梯子を支えていた被災者が製品とクレーンのサドルの間にはさまれた。</p> <p>同種災害を防止するための対策例 ・荷の形状に応じた安全なクレーン作業手順を策定し、作業者に周知すること。</p>		崩壊・倒壊	荷姿の物
5	2月	(産業廃棄物処理業) 清掃・と畜業	男性	作業員	50代	<p>鉄屑を処理する事業場において、ドラグショベルにリフティングマグネットを装着した移動式クレーンを使用してトラックの荷台から鉄屑を下ろす作業を行っていたところ、近くで見えていたはずのトラック運転者の姿が見えなくなった。そのため、荷台の中を確認したところ、荷台後方で倒れている被災者を発見した。なお荷台の中には竹ぼうきが落ちていた。</p> <p>同種災害を防止するための対策例 ・共同作業における作業標準を定め、関係者に周知し作業を行うこと。特に所属が異なる場合は徹底すること。</p>		激突され	移動式クレーン

平成29年における死亡災害発生状況(速報)

資料 2

平成29年8月31日現在

<事故の型>

激突され 3人 (21%) 交通事故 3人 (21%) 転倒 2人 (14%)
 飛来・落下 2人 (14%) はさまれ、巻き込まれ 2人 (14%) 墜落・転落 1人 (7%)
 崩壊、倒壊 1人 (7%)

番号	発生日	業種	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	起因物
6	2月	陸上貨物運送事業	男性	運転手	60代	被災者が、配達を終え名神高速道路を走行中、横転事故による渋滞の最後部にいたトラックに追突したものの。 同種災害を防止するための対策例 ・交通労働災害防止のための安全教育を実施すること。 ・進行方向の高速道路上の状況を表示している、電光掲示板等の情報を常に意識し、状況判断を行うこと。	<p>事故のため停車中</p>	交通事故(道路上)	トラック
7	3月	林業	男性	作業員	70代	30度の斜面において、チェーンソーを用いて伐倒木(直径38cm)の枝払いの作業を行っていたところ、同伐倒木が動き出したために逃げようとした。しかし、逃げ切れず、転落してきた伐倒木が背中にあたり、そのまま谷側に切り倒されていた木(直径44cm)との間に挟まれたもの。 同種災害を防止するための対策例 ・造材作業を行うときは、平坦な場所で木材の転位等を防止するための措置を施したうえで実施すること。		激突され	立木等
8	3月	林業	男性	作業員	60代	伐木等機械であるグラップルのクローラー部分にひかれたもの。 同種災害を防止するための対策例 ・機械の旋回範囲や可動範囲を明確にするために表示し、労働者を立ち入らせないようにすること。		はさまれ・巻き込まれ	伐木等機械
9	3月	林業	男性	作業員	80代	杉立木(樹高約25m、胸高直径約30cm)を斜面上方向に伐倒したところ、幹が裂け上がり、その反動で跳ね上がった伐倒木が退避しようとしていた被災者の上に覆いかぶさるように落下し、地面と幹の根本の間にはさまれたもの。 同種災害を防止するための対策例 ・「つる」を適正に作り、機能させる伐倒方法を意識して作業すること。 ・追い口の位置を低すぎないようにすること。		激突され	立木等
10	5月	(産業廃棄物処理業)	男性	作業員	50代	積載型トラッククレーン(吊上荷重2.93t)で木材が入ったコンテナを(約2.2t)吊り上げ、移動させていたところ、当該クレーンが倒れ、操作していた被災者が当該クレーンの下敷きになったもの。 同種災害を防止するための対策例 ・アウトリガーを最大まで張り出してクレーン作業を行うこと。 ・定格荷重より重い荷を吊らないこと。		転倒	移動式クレーン

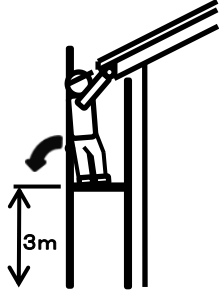
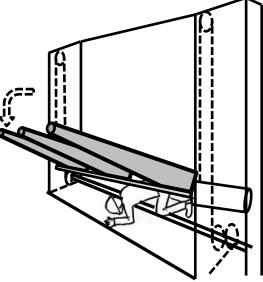
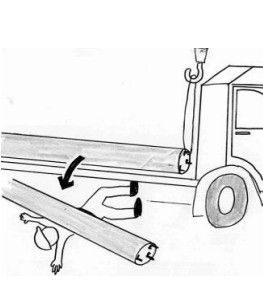
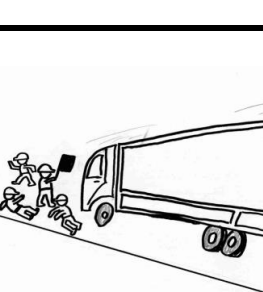
平成29年における死亡災害発生状況(速報)

資料 2

平成29年8月31日現在

<事故の型>

激突され 3人 (21%) 交通事故 3人 (21%) 転倒 2人 (14%)
 飛来・落下 2人 (14%) はさまれ、巻き込まれ 2人 (14%) 墜落・転落 1人 (7%)
 崩壊、倒壊 1人 (7%)

番号	発生日	業種	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	起因物
11	6月	建築工事業	男性	板金工	60代	<p>木造2階建ての住宅改装工事において、2階の屋根、破風板等を取り付ける作業を足場上で行っていたところ、3m下の地面に墜落したもの。 ヘルメットは着用しておらず、安全帯も身に着けていなかった。</p> <p>同種災害を防止するための対策例 ・足場については高さ85cm以上の手すり及び中さんを確実に設置したうえで、作業を行う際は安全帯を使用させること。</p>		墜落・転落	足場
12	7月	木材・木製品製造業	男性	作業者	30代	<p>トローリーフィーダーのアーム昇降させる駆動 모터につながらっている減速機を修理するために、アームの下部に潜り込み、減速機の固定ボルトを取り外したところ、減速機出力部分とシャフトをつなぐチェーンが外れ、アームが自然落下し、アームと架台部分にはさまれたもの。</p> <p>同種災害を防止するための対策例 ・作業を行う時は、原則機械の可動範囲内に労働者を立ち入らせないこと。また、可動範囲内に入る必要がある時は、安全ブロック等を使用するなどの措置を講じること。</p>		飛来・落下	その他の動力運搬機
13	8月	陸上貨物運送事業	男性	運転手	30代	<p>建設工事の基礎に使用されるコンクリートパイル(直径0.5m×長さ13m、重量約3.5トン)をクレーンを使用してトラックの荷台に載せる作業中、パイルに掛けられたワイヤロープを外し、クレーンのオペレータが巻き上げ及び走行操作をしたところ、ワイヤロープがパイルの先端の金具に引っ掛かり、荷台から落下したパイルの下敷きとなったもの。</p> <p>同種災害を防止するための対策例 ・荷崩れしやすい荷を積みこむときは、荷締めをしてから玉掛け用ロープをはずすこと。</p>		飛来、落下	荷姿の物
14	8月	(その他の土木事業)	男性	作業者	40代	<p>高速道路上で車線規制をして舗装補修工事を行っていた場所に大型トラックが突っ込み作業者に衝突し、1名が死亡したほか、4人が負傷したもの。</p> <p>同種災害を防止するための対策例 ・誘導者や警備員から退避の合図があったときは、できるだけ速やかに逃げること。</p>		交通事故(道路上)	トラック